

## 三浦市独自の経済振興の考え方 「6次経済」

『6次経済』の目的は、消費者が望むライフスタイルを全市民参加型で提供し、それを経済振興につなげることです

6次経済 = 1次 × 2次 × 3次 (どれかひとつがゼロになったら、答えはゼロ)

### 農

村地域において、農業生産(1次)を、加工、流通(2次)、販売(3次)まで展開しようとする「6次産業」という考え方は、これまでもありましたが、それとは異なります。私たちの『6次経済』は、第1次産業(農業、漁業など)、

第2次産業(製造業、建設業など)、そして第3次産業(商業、サービス業など)の価値を、お互いに組み合わせ、**日常消費、飲食、**

**学び、遊び、観光、スポーツ、文化活動**などなど、**消費者の様々な活動を呼び起こし、経済活動全体を元気にしていこうという考え方**です。



### 例

えば、都会に住む磯野家が「三浦に何を求めているのか。」について考えてみましょう。サザエさんは、安全な野菜をタラちゃんに食べさせたいと思っていますが、都内のスーパーの野菜はいまひとつ不安です。マスオさんは、仕事に疲れ、癒しを求めています。休日の観光地は人がいっぱい。そこで、そんな磯野家に、『6次経済』の考え方で「三浦独自のライフスタイル」を市民と行政が一体となって提案します。農家の方は畑の一部を提供し、

**波平さんに耕作方法を教え、サザエさんの料理の相談にも親身になって応じます。**マスオさんとタラちゃんは海でのんびり釣りを楽しみ、新鮮な魚をたくさん釣ったときは、**水産加工の方が要望に応じて、フネさんへのお土産用に干物や味噌漬けなどをつくるお手伝いをします。**家族で海洋深層水風呂で心と体を暖めてゆっくり帰路につきます。そして、もし磯野家が三浦市を気に入れば、**地元建設業者が家も建てます。**このような、都会にはない、しかもおしつけがましくない、消費者が望むライフスタイルを全市民参加型で提供し、それを経済振興につなげることが『6次経済』の目的です。



### 前

号(12・13合併号)でお知らせしたように、本年4月1日に営業開発課という新しい組織が生まれます。この課は、6次経済を具体化するために必要な資源開発を専門的に進め、三浦市を積極的に売り込んでいく組織です。第1次、第2次、第3次産業の異業種交流を促し、地域の経済資源をうまく生かした商品やサービスの開発を支援する組織です。**三浦市にはまだまだ可能性に富んだ経済資源がたくさん埋もれているはず**です。市民の皆さん、事業者のみなさん、三浦市に遊びに来たことのある皆さん、お知恵をどしどしお寄せください。よろしくお願いいたします。